

事業報告書

令和元年度

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

境港市中町 106 番地

学校法人聖心幼稚園

理事長 佐賀 有道

学校法人聖心幼稚園 令和元年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 設置する幼稚園

聖心幼稚園

所在地 鳥取県境港市中町106
電話番号 0859-42-2040
FAX番号 0859-42-2040
ホームページアドレス <http://www.seishinyochien.jp/>

(2) 定員数及び園児数

園則定員数 150名

園児数

学年	組名	平成31年4月1日現在 園児数	令和2年3月31日現在 園児数	備考
5歳児	ゆり組	35名	35名	
4歳児	すみれ組 ひまわり組	37名	37名	
3歳児	うめ組	30名	29名	転勤のため 3月退園1名
満3歳児	たんぽぽ組	17名	18名	9月入園1名
合計		119名	119名	

(3) 令和2年3月31日現在の役員・教職員等の員数

役員数		教職員数	
理事長	1名	教員	14名
理事	6名	非常勤職員(司祭)	1名
評議員	15名	職員	5名
監事	2名		
合計	24名	合計	20名

(4) 園児数及び教職員数の経年推移 (令和2年3月31日現在)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
園児数	121名	133名	119名	119名
教員数	14名	14名	14名	14名
職員数	5名	5名	5名	6名

(5) 納付金等の経年推移 (円)

園児納付金内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入園料	18,000	18,000	18,000	18,000
保育料(月額)	22,000	22,000	22,000	23,000
施設設備費(月額)	3,500	3,500	3,500	4,000
給食費(1食)	226	226	226	226
PTA会費(1家庭月額)	500	500	500	500
預かり保育料(月上限額)	4,000	4,000	4,000	5,000
希望日預かり保育料(日額)	500	400~800	400~800	400~800

2. 事業の概要

(1) 令和元年度の当園の事業報告

① 理念に基づく教育の実践

キリスト教保育に基づき、幼児の発達の特性と理解につとめ、愛と心をもって子どもの生活を見つめ、家庭との連携を十分にとりながら子どもの心と保護者の心に届くような、一人ひとりを大切にしたい保育の教育実践と教育環境作りに努めた。子どもも保護者も一緒に楽しめる、また、一緒に育ち合える幼稚園作りに力を入れると同時に、園行事では園児の祖父母にも積極的に声をかけ、参加していただけるようにした。

また、地域に開かれた幼稚園作りや社会性の育ちを促すために園児の積極的な地域行事への参加や、年間を通して境小学校との定期的な交流、境一中生の職場体験の受け入れや近隣の介護施設・福祉施設との交流も行った。このような心と心の触れ合いを大切にしたい交流を行うことでさまざまな人とのかかわりを積み重ねながら

互いの思いが響き合う楽しさや喜び、葛藤を実感できる人間関係作りの素地を形成する経験をすることができた。

⇒朝礼時のお祈り、終礼時のお祈り、長期・短期の指導計画立案と実践、園だより・クラスだより・全園児だよりの発行、個人用連絡帳の活用、玄関の掲示板、HPの新着情報、福祉ふれあい祭り、まつぼっくりもちつき交流、中学生の職場体験、境小学校との交流等

② 教育研究の取り組み

令和元年度から教育研究を「健康な心と体～園生活の中で、主体的・意欲的な子どもを育てる～」と新たに設定し、日々の保育の中で研究を進めた。

⇒教育研究ファイル参照

③ 教職員研修による質の向上

教職員の資質向上に努めるため、累計21回の研修会や勉強会に参加した。参加した職員は研修内容や気づきなどを報告し、内容を全職員が共有している。

また、毎日の終礼でその日の活動内容や子どもたちの姿、育ち、気づき、指導内容で良かった点、反省点などを報告し、他職員よりアドバイスを受けるなどして次の保育に生かせるよう努めている。今後もこのような取り組みを継続することで、一人ひとりの子どもの理解と共通理解を深め、さらなる連携を図りながら保育の充実に努めていきたい。

⇒終礼ノート、研修会報告、週日案の添削等

④ 自己評価の実施

年度初めに自己課題の目標や行動目標を掲げ、保育を行った。毎学期ごとに保育を振り返り、自己評価をして提出した。また年度末には一年間をとおしての自己課題への取り組み状況などを報告した。その都度園長・教務主任との面談の場を設け、話し合いを行った。その際、相談なども行い、職員の心のケアも行った。職員個人の自己評価は行っているが、園としての自己評価の実施が十分できていないので次年度の課題である。

⇒自己評価シート、一斉公開日アンケート

⑤ 一斉公開日の実施

6月4日、11月5日に『一斉公開日』として一般公開した。園児の保護者をはじめ、境港市教育委員会、子育て支援課、市内小学校、児童民生委員など地域の方にも案内し多方面の方に当園の教育内容の理解していただけるような取り組みを行った。子どもたちの園での姿を見ていただくと同時に、保育の資料などを配布することで教育内容の理解や職員の保育に対する熱意などを感じ取っていただく機会とした。また、

アンケートを取り分析することで、客観的な視点での振り返りをし、今後の保育に生かすようにした。

⇒一斉公開日保育資料、アンケート結果

⑥ ECEQ 公開保育の実施

11月13日に県内私立幼稚園・認定こども園の先生方に参加していただき、公開保育及び研究会を行った。当日は、約30名の参加者と研究協議を行い、研鑽を深めた。当園の保育教育内容を高く評価していただいた。

当園の職員は、4名のECEQコーディネーターの先生のご指導のもと、公開保育を含め5回の園内研修をするなど研鑽を深めた。

⇒写真参照

⑦ 食育の実践

境港市の食育支援事業としての『マグロ集会』『カニ集会』を行い、日本有数の漁港である境港ならではの体験を行った。スライドを使って、マグロやカニがどのように生育するのか、生体の様子、捕獲する方法などを学んだあと、目の前で調理してもらった。そのほかにも、地元で捕れた魚を自分たちでさばき、料理して食べるなど、クッキング活動を行い、地元で捕れるものへ興味関心を深めた。また、限られた環境を使って栽培活動（夏野菜、さつまいも、だいこん）に取り組んだ。収穫したものでクッキング活動を定期的に行い食への感心をもたせると同時に命の大切さを知らせていった。

⇒写真参照

⑧ 赤十字炊き出し体験の実施

11月20日に境港市赤十字奉仕団の方々と一緒に災害時の『炊き出し体験』を行った。今回は、特殊な袋を使った焼きそば作りをした。普段ではできない貴重な体験をすると同時に奉仕団の方との交流の場にもなっている。

⇒写真参照

⑨ 『にこにこひろば』（子育て支援事業）の実施

子育て支援の一環として未就園児親子・在園児親子対象に、親子で一緒に楽しさを共有し、親子の絆を深めるための『にこにこひろば』を、土曜日を使って行った。ポトルアクアリウム作りやお月見団子作りなど、年間で6回行い、延べ45組の親子が参加した。また、毎日の園庭開放や園行事への参加も行った。

⇒ ファイル参照

⑩ 『親子登園日』（子育て支援・保護者支援事業）の実施

親子で触れ合う、共に学び合える、親同士の関係作りを目的として計画を立て、一緒に楽しみながら各学年で土曜日を利用して行った。

- 5月25日（土） 4歳児すみれ・ひまわり組
- 6月 1日（土） 2歳児たんぽぽ組
- 6月 8日（土） 5歳児ゆり組
- 6月15日（土） 3歳児うめ組

⇒写真参照

⑪ 『にこにこ子育てサロン』（子育て支援・相談事業）の実施

在園児の保護者を対象にした子育て相談事業『にこにこ子育てサロン』を実施した。園行事などの関係で、年3回の実施のみになった。

⑫ 預かり保育（子育て支援事業）の実施

子育て支援事業として預かり保育を行っている。就労する親が増加していることから、需要が高まっている。

- 保育終了後～18：30 利用児約35人
- 長期休業中（春休み、夏休み、冬休み）8：00～18：30 利用児約60人
- 希望日預かり保育 保育終了～18：30 利用児約1～8人

⇒預かり保育記録ファイル、名簿参照

（2）令和元年度の教育及び活動報告

① 園行事の実施状況

月	行 事
4月	始業式、入園式、家庭訪問、PTA総会
5月	親子登園日、避難訓練、健康診断（内科検診、歯牙検査）
6月	一斉公開日、プール開き、市民プール（長）、ロケットくれよん公演
7月	七夕まつり、避難訓練、個人懇談会、終業式、夏休み
8月	夏休み、夏期保育、夕涼み会（長）
9月	始業式、祖父母会、防災訓練
10月	運動会、幼稚園説明会、人形劇観劇、バザー（PTA）
11月	一斉公開日、収穫感謝祭、赤十字炊き出し体験、避難訓練、もちつき
12月	クリスマス礼拝・祝会、個人懇談会、終業式、冬休み
1月	始業式、入園説明会
2月	節分豆まき、生活発表会

3月	ひなまつり、避難訓練、教室公開（参観）、お茶会（長）、お別れ会、卒園式、終業式、春休み ※上記行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や内容を変更した。
----	--

② 毎月の行事

- 誕生会…誕生児の保護者を招待し、一緒にお祝いしていただく。誕生会への参加、給食を一緒に食べていただく、茶話会での交流などを通して、園の教育内容などを理解していただく機会となっている。
- 身体測定・アタマジラミチェック…毎月初めに測定を行い成長の様子を知らせる。同時にアタマジラミチェックを行う。

③ 各種教室の実施

- 園児の知育発達促進のため、外部講師を招き教室を保育時間内に行っている。
- 英語教室（対象：年長）…月2回 講師：面谷直美先生
 - 茶道教室（対象：年長）…月1回 講師：岡空京子先生
 - 体操教室（対象：年長、年中、年少）…月1～2回
講師：新井政和先生（トータルスポーツクラブ）

④ 安全・保健教育の実施

- 避難・防災訓練…年4回 火災、地震、津波発生などを想定して、避難訓練を行っている。引き渡し訓練も実施してみた。
- 各種保健事業の実施…内科検診、歯牙検査、尿・蛭虫検査、寄生虫検査の実施。保健日より発行による情報発信も行っている。

⑤ 課外体操教室の実施

- 保育終了後（15：00～16：00）、本園遊戯室にて『課外体操教室』を行っている。
講師：トータルスポーツクラブ 新井政和先生
・毎週水曜日…年中児（希望者約20名）・毎週金曜日…年長児（希望者約20名）

（3）教職員の採用等

- ① 保育補助職員 岡崎千恵 令和元年6月10日付採用
- ② 常勤講師職員 武良友江 令和元年10月16日付採用
- ③ 常勤講師職員 手島 歩 令和2年4月1日付教諭採用
- ④ 教諭 清水麻衣子 令和元年6月24日より産前休暇取得
- ⑤ 教諭 鬼東瑠衣子 令和元年12月1日より産前休暇取得

(4) 令和元年度園児納付金の値上げ実施 (円)

園児納付金内訳	平成 30 年度	令和元年度
保育料 (月額)	22,000	23,000
施設設備費 (月額)	3,500	4,000
預かり保育料 (月上限額)	4,000	5,000

(5) 令和元年 10 月 1 日より幼児教育無償化の実施 (円)

園児納付金内訳	令和元年度	
入 園 料	18,000	※ 1
保育料(月額)	23,000	※ 2
施設設備費 (月額)	4,000	
給食費 (1 食あたり)	226	※ 3
P T A 会費 (1 家庭月額)	500	
預かり保育料(月額上限)	5,000	※ 4
希望日預かり保育料(日額)	400~800	※ 4

※ 1 無償化対象 (3 歳以上当年度入園者) 償還払い

※ 2 無償化対象 (満 3 歳以上全員) 代理受領

※ 3 一部無償化対象(非課税世帯、ひとり親世帯、多子世帯)

おかず代のみ 代理受領

※ 4 条件付き無償化対象 (2 号認定世帯) 市の認定手続き必要 代理受領

(6) 教職員の諸手当の充実

○教員資格手当 (教諭 1 種免許 7,000 円/月、2 種免許 5,000 円/月)

○固定時間外手当 (15 時間分/月)

(7) 園バスの購入

令和元年 10 月 29 日納車 10 月 30 日運行開始

(8) 園庭3の整備実施

○工事期間 令和元年9月29日～3日間

○施工業者 リンクス